議会だより





第19号 令和4年11月発行

■第11回(9月)定例会議·····P2 ~ 5

■第10·12·13回臨時会議···P6

■一般質問······P7~9

■編集後記ほか・・・・・・P10



ナギナタコウジュ(薙刀香薷) 「シソ科 ナギナタコウジュ属」

北海道〜九州、アジアの温帯地域に分布する1年草で、山麓、原野などの道端に自生します。全体に強い香気(臭気)があり、茎の断面は四角形で白い毛が密生し、上部で枝分かれをすることが多いです。花期は9〜10月で、枝の頂や葉腋から花穂が出て、淡紅紫色の小さな花が一方向だけに向いて咲きます。

名の由来は、花が一方に偏ってつき、長い花穂が反り返る様子が薙刀に見えること、独特の香りが中国のコウジュという薬草に似ることに由来するそうです。

令和4年9月定例会

令和4年第11回定例会が9月8日から13日まで開催され、村からの上程議案21議案が審議され、 全会一致で可決しました。

令和4年度一般会計補正予算(5号)

補正予算1億5,678万円が追加され、総額22億7,703万円に

■ 主な歳入

〇村税	4,205万円
〇使用料及び	194万円
手数料	
〇国庫補助金	5,388万円
〇県支出金	1,488万円
〇財産収入	1,306万円
〇繰入金	△8,497万円
〇繰越金	1億 879万円
○村債	7 1 5 万円

■ 主な歳出

〇総務費	5,858万円
〇民生費	279万円
〇衛生費	75万円
〇農林水産業費	1,427万円
〇商工費	4 8 5 万円
〇土木費	450万円
〇消防費	9 2 4 万円
〇教育費	3 1 5 万円
〇諸支出金	5,785万円
〇予備費	80万円

(*万円以下は、調整)

令和4年度各特別会計補正予算

会 計 名	補正額	補正後の予算額	補正の主な理由及び事業
国民健康保険特 別会計(第1号)	837万円	2億2,992万円	前年度繰越金の確定や基金積立
後期高齢者医療 特別会計(第1号)	128万円	3,221万円	前年度繰越金の確定や後期高齢者広域連 合負担金の決定
簡易水道事業特 別会計(第1号)	3,223万円	7,042万円	前年度繰越金の確定や山鹿川河川改修工事に 伴う水道本管仮設工事
診療所特別会計 (第1号)	137万円	6,257万円	前年度繰越金の確定や医業費の追加
介護保険特別 会計(第1号)	2,394万円	2億9,284万円	前年度繰越金の確定や基金積立
風力発電事業特 別会計(第1号)	5 4 7 万円	5,135万円	前年度繰越金の確定や基金積立
うぶマート事業 特別会計(第1号)	一 万円	2,005万円	店舗名公募商品券代及び商品買上ポイント還元 を予備費から流用

(*万円以下は、調整)

9月定例会(主な議決事項)

特定事業所事業継続維持支援金

800万円



新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ特定事業者(従業員が20名以上の事業者:やまなみゴルフ 倶楽部、株式会社うぶやま)を支援 (全額国補助)

生活者 • 事業者支援商品券

963万円



原油価格・物価高騰の影響を受けている生活者及 び事業者の負担軽減のため、1世帯主に1万円と世 帯主以外に各3千円を村内で利用できる商品券を 配布 (全額国補助)

原油価格・物価高騰緊急対策事業

1,466万円



原油価格や農業資材等の高騰の影響を受ける農畜産物または特用林産物生産農家の負担軽減のため、販売金額に応じ3万円から15万円の範囲で支援金を交付 (全額国補助)

農地利用効率化等支援事業補助金

983万円



昨年度設立された農事組合法人上田尻アグリの各種 施設整備に国から1/2~1/3を補助

その他主な議案

- ○報告第5号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告について
 - 要旨 株式会社うぶやまの令和3年度決算報告 (詳細については、うぶやま広報10月号に掲載)
- ○報告第6号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告について
 - 要旨 株式会社うぶやまの令和4年度第一四半期の報告
- ○承認第4号 産山村過疎地域持続的発展計画の一部変更承認について
 - 要旨 過疎計画に基づき、今後行われる事業を変更(道路改良等)
- ○議案第45号 産山村職員等の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
 - 要旨 国の地方公務員の育児休業に関する条例の改正に伴い、子の出生日から57日間内の育児休業取得要件を緩和
- ○議案第46号 産山村部落差別等の撤廃及び基本的人権の擁護に関する条例の一部を改正する条例について
- 要旨 県条例「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」の趣旨に沿い村の条例を改正
- ○議案第47号 産山村高校生等がんばれ助成金条例の一部を改正する条例について
 - 要旨 本村の高校生に現在月7千円を助成しているが、物価高騰等の影響緩和のため、本年度に限り月1万円を助成

問 上されているが、今回財源50万円を増額は、すでに畜産振興費で100万円が計 充てることは理解する。 し、コロナの交付金として150万円を 産経営持続化支援事業について

であれば、畜産農家には牛だけでなく、 所得向上を図るために助成するとのこと ただし、 鶏も含むもので矛盾があると思うが 趣旨が畜産農家の経営安定と

その点について伺う。

事業であるが、その財源にコロナ対策交 年度も取り組んできた。 付金を充て、一般財源を減らすことで昨 以前から単独事業として行っていた 畜産経営持続化支援事業について

部で検討する。 含めてないが、 豚、 鶏等については、 今後このことも含めて内 今回の対策には

定

例

会

質

問 入予定か。 堆肥製造施設の機械は、 1 0 頃

9

月

以前修理費として300万円を予算化 たがその後、 また、 現在ある機械の修理につい 修理を行ったのか。 て、

でには、 ろ行っていない。 ホイルローダーについては、 ては、トラクターとスプレッターは年内、 機械の修理については、 納入予定である。 機械の導入時期につい 来年3月ま 今のとこ

> ルを伺う。
> 防マスク配布の事業実施のスケジュ格・物価高騰緊急対策、コロナ感染 で生活者・事業者支援商品券、 策の各種事業を組 地方創生臨 時交付 んでいるが、 金の コロナ感染予 コ 原油価 口 ナ 中対

での期間で行いたゝ。10月初旬から12月末もしくは1月末ま10月初旬から12月末もしくは1月末ま12巻1 生活者・事業者支援商品券は、

原油価格・物価高騰緊急対策は、ては、社会福祉協議会え歴れ 在 という形で行う。車等がない方につい 民館で配布、それ以外は、 広報にて連絡し、昨年と同じように公コロナ感染予防マスク配布は、10月 日程につい コロナ感染予防マスク配布 ては、 調整中である。 役場で配布

問 制持続化支援の対象は。 公共施設等感染予防管理維持体

社うぶやま、 200万円を支援する。 やま、九州産直市場にそれぞれ、業で、指定管理者である株式会公共施設の経営持続化を目的に

は、 10 現 答 答 問 はない 調整 をしていだくようお願いしていく。 はないか。 引き続き要望が上がっている方には、 令 和4年度は3件の申請が上がっている。 している状況ではあるが、中々進んでいない。 令和8年度まで事業が可能で現在関係者と 水道加入金に 加入金に について、 ついても見直すべ

水道料金も見直

i

きで

復旧

工

ていなかったため、 ところであるが、水道加入金については検討 令和4年度から水道料金の値上げを行 今後検討したい。 を 0





*現在新規加入される方は、水道加入金一般用 5万円、営業用10万円とメーター器までの引込 工事費(算定した金額)が必要です。

宅地災害復旧費について、

令和3年度決算認定から

か。間 いつまでかかる

4

令和3年度決算に伴う監査員からの報告

8月19日から9月1日までの間、決算監査が行われ、その結果は、以下のとおりです。

令和3年の決算で一般会計については、歳入総額で2,713,908,058円、歳出総額2,569,101,206円で歳入歳出差引額144,806,852円で、実質収支額も128,790,852円の黒字となっている。

6特別会計についても、実質収支額は、黒字となっており、本村の財政収支は健全な状態にあるといえる。

歳入における村税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入の収入未済額は41,909,617円で、前年51,024,178円に比べ9,114,561円の減となっている。滞納額が少なくなった要因として、主に村税及び固定資産税の徴収額の増加によるものであるが、これは、コロナ禍による税収減に伴いコロナ対策事業により納付者への交付金等があったためと考えられる。その一方で、それ以外のものについては、滞納額の微増が見受けられ、今後も分納計画を立て徴収に努力をしていただき、完納されている方との不公平感がなくなるよう、さらなる未収対策の取り組み強化が必要である。

次に出張に伴う旅費支給についてだが、今後は条例・規則にのっとった執行をお願いしたい。

基金の状況については、昨年に比べ基金総額で対前年比108.6%、総額100,576,071円となった。

地方債年度末残高の推移では、平成24年以降で最高の地方債残高2,302,927千円に達している。この事は、次年度以降の 償還額に漸増して行く訳でそれに伴い一般財源不足から計画事業の縮小や翌年度へ繰り延べといった影響が出てくるため、 地方債の借入については補助事業への移行や計画の見直しによる起債事業の減額に努めるなど、地方債の借入には慎重を 期していただきたい。

また、このような中、自主財源の確保のため、ふるさと応援寄付金においては、昨年17,079,000円、本年度22,491,500円と対前比131.7%、5,412,500円増の成果が上がっている。令和4年度からは産山未来ラボ(産山村応援隊)が事務を遂行する。新たな地域づくりと魅力ある返礼品の開発などで今後も寄付金の拡大を期待したい。

最後に、今後当分の間は、新型コロナウイルス禍による財政状況への影響を注視するとともに、社会経済情勢の変化を 的確に掌握しながら、更なる財源の確保及び経費の抑制を図り、基金繰入や地方債に依存しない健全財政の実現に努めら れたい。

令和4年9月3日

代表監査委員 吉野 文夫 議選監査委員 城本 俊成

*令和3年度の決算書の詳細については、「うぶやま広報10月号」に掲載

9月定例会上程議案

議案番号	議 案 名
報告第5号	「株式会社うぶやま」の経営状況報告(令和3年度決算)について
報告第6号	「株式会社うぶやま」の経営状況報告(令和4年度第1四半期)について
承認第4号	産山村過疎地域持続的発展計画の一部変更の承認について
議案第45号	産山村職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第46号	産山村部落差別等の撤廃及び基本的人権の擁護に関する条例の一部を改正する条例について
議案第47号	産山村高校生等がんばれ助成金条例の一部を改正する条例について
議案第48号	令和4年度産山村一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について
議案第49号	令和4年度産山村国民健康保険特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について
議案第50号	令和4年度産山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について
議案第51号	令和4年度産山村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について
議案第52号	令和4年度産山村診療所特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について
議案第53号	令和4年度産山村介護保険特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について
議案第54号	令和4年度産山村風力発電事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について
議案第55号	令和4年度うぶマート特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について
認定第1号	令和3年度産山村一般会計歳入歳出決算認定について
認定第2号	令和3年度産山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第3号	令和3年度産山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
認定第4号	令和3年度産山村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第5号	令和3年度産山村診療所特別会計歳入歳出決算認定について
認定第6号	令和3年度産山村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第7号	令和3年度産山村風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定について

令和4年10回臨時会

令和4年第10回臨時会が8月17日に開催され、予算議案1議案を審議し、全会一致で可決しました。

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

122万円を追加し、総額21億2,025万円に

主な補正予算

要旨 給食センター会計年度任用職員の退職に伴い、当分の間、調理業務員2名を人材派遣センターに委託します。



令和4年12回臨時会

令和4年第12回臨時会が10月4日に開催され、契約議案1件、予算議案1件の2議案が審議され、 全会一致で可決しました。

議案第56号 工事請負契約の締結について 契約額5、247万円

要旨 村道産山・田尻線飛瀬橋の架け替え工事に伴い、上部工の工事費が5,000万円を超えるため、議会の議決(地方自治法第96条第1項第5号の規定)を行いました。



架設が行われる産山・田尻線飛瀬橋

令和4年度一般会計補正予算(第6号)

1,810万円を追加し、総額22億9,513万円に 〇土木費 台風14号災害

要旨 台風14号による土砂や流木等の撤去作業費の補正を行いました。



尻線戸屋ノ尾付近の風倒木状況

令和4年13回臨時会

令和4年第13回臨時会が10月17日に開催され、予算議案1議案を審議し、全会一致で可決しました。

2,976万円を追加し、総額23億2,489万円に

令和4年度一般会計補正予算(第7号)

〇原油価格等高騰経済支援対策事業 434万円

要旨 9月定例会にて補正した原油価格や農業資材等の高騰に伴う農畜産物又は特用林産物生産 農家の負担軽減を図る事業について、事業対象者数の増加により、予算を追加。(国の事業)

〇電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 1.450万円

要旨 電気・ガス・食料品等の価格高騰による負担増に伴い、特に家計への影響が大きい低所得 世帯(住民非課税世帯等)に対して、1世帯当り5万円を給付。(国の事業)

〇災害復旧費 1,100万円

要旨 台風14号で被災した道路、河川、農地、農業用施設の災害査定設計書を作成するため、委託費を追加。

村政を問う

一般質問



春夫 議員



住定住問題

ていきたい。

●地域ブランディング

を行っているのか。 にして差別化し、その土地のよさを明にして差別化し、その土地のよさを明にして差別化し、その土地のよさを明確ディング(他の地域との違いを明確がすとが、後上人では地域活性化のため、移住人議員」過疎化が続いている中、(議員)過疎化が続いている中、

> 本村に移住したい 全に 本がとして、子育てしやすい環境、 をより充実化させ、移住後の懸念 をより充実化させ、移住後、人 では、との声も聞 では、との声も聞 では、との声も聞 では、との声も聞 では、との声も聞 では、との声も聞 では、との声も聞 では、との声も聞 をより充実化させ、移住後、人 をより充実化させ、移住後の懸念 をより充実化させ、移住後の懸念 をより充実化させ、移住後の懸念

る。
ないので、検討、行動をお願いすないので、検討、行動をお願いすしていかないと、移住につながらく、村民に分かるようなやり方をく、村民に分かるようなやり方をは、議員】行政でやっているだけでなる。

●空き家対策

いるのか。
は、空き家の確保が必要不可欠では、空き家の確保が必要不可欠では、空き家の確保が必要不可欠で

【企画振興課長】昨年の調査で、77【企画振興課長】昨年の調査が必要である。後居住の可否の調査が必要である。後居住の可否の調査が必要である。ので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきたので、充実した取組としていきた。

●移住者の孤立化対策

いるのか。 移住者の孤立化対策をどう講じて落に中々なじめない人もいる。 【**議員】**移住者の中には移住した集

企画振興課長』移住支援等については、随時相談窓口を企画振興課 で持っているが、思うように進んでいないのが現状だ。過疎の地域の中で生活していく上では人間関係を含めた地域とのつながりは、必要不可欠であり、移住相談の窓必要不可欠であり、移住相談の窓必要不可欠であり、移住相談の窓が要不可欠であり、移住地談のに変を含めた地域とのつながりは、必要不可欠であり、移住支援等について進めていきたい。

●段階を踏んだ移住計画

えるが。 段階を踏んだ移住計画が必要と考い環境の中で暮らしてもらうため、【議員】移住者を孤立化させず、良

【企画振興課長】移住相談窓口や空き家バンクの設置により、移住定住の前段として、生活できる環境、付の暮らし、仕事などの情報を提供し、繰り返し相談を行っていき、その後のケアも必要であり、新たなツアーやお試し住宅の活用方法を考えていきたい。

●移住者、地域住民間のルール

対策を講じているか。ラブルを防ぐため、ルールづくりの見がをは後の移住者、住民間のト

支援体制も併せて構築したい。 し、移住前から情報提供を行い、移 し、移住前から情報提供を行い、移 と検討してまいりたい。 と検討してまいりたい。 と検討してまいりたい。 と検討してまいりたい。 と検討してまいりたい。 と様討してまいりたい。 と様討してまいりたい。 と様討してまいりたい。

【議員】過疎地域の活性化のために、 豊かな資源を活用していくべきであり、移住者の受入れは、少子高齢化 が進む地域では活気を与える非常に 有効な手段だ。移住者を永住者にし、 地域の再生の力となってもらうため 受入態勢をしっかりと整え、地域住 受入態勢をしっかりと整え、地域住 民と移住者との間の壁を取り除き、 地域に溶け込むよう、行政と村民が 一体となってこの課題に真剣に取り 相む必要がある。移住者が来るのを 組む必要がある。移住者が来るのを ことも必要であり、早急に対策を講 じるよう提言をする。



議員

■小動物について

【議員】 きないか。 避妊手術に対して一部助成はで 捨て猫や捨て犬の去勢・

対しても検討してはどうか。 イクロチップを埋め込むことに 動物の管理のため、

て養うことが基本的なことだと 飼うからには責任を持っ

か考えながら飼っていただきた 生涯どういった費用がかかる

どん増えていくことになる。 と感染症の問題や犬、猫がどん ただし、これを放置しておく 処分というのは中々できない

■廃屋となっている建物について

【議員】廃屋になりつつある建物につ いて解体費用の一部は助成できない

企画振興課長】廃屋となった空き家 1 対する財政措置等は定められている えている。国や県では空き家解体に 境の悪化等を招くリスクがあると考 は、災害による倒壊や犯罪、 のが現状である。 直接的な補助事業というのはな 周辺環

っていない。 阿蘇管内、 近隣町村等では実質行

行うよう促していかなければならな ち主が維持管理を行うことが、空き 可能性がある。 でおり、 家対策特別措置法で定められている。 そのことから持ち主が維持管理を 本村においても少子高齢化が進 空き家の数が今後多くなる 初期段階として、 持



■マイナンバーカードについて

【議員】マイナンバー 失したり認知症になり置いた場所いる。保険証代わりに使用し、紛 が分からなくなると言ったリスク はスマホも使えない高齢者も多く は結構あると思う。 てのメリットはわかるが、 カードについ 地方で

るのか。 が、これからどのように更新をす デメリットもかなりあると思う

ンバーカード取得率は何%か。また、今までの産山村のマイナ

みの閉ざされたネットワークで管 念されるが、特定個人情報、いわ 外部に流出するのではないかと懸 住民課長】デメリットとして、マ 理している。 では行われておらず、行政機関の ゆるマイナンバーの管理は、企業 イナンバーが流出し、個人情報が

散システムで管理されている。 芋づる式に情報が漏えいしない分 などを受けた場合でも、情報は る場合、4桁の暗証番号で管理し つのところに一元化されてなく、 誤るとロックする。サイバー攻撃 -ドを使ってポータルサイトを見 また、セキュリティ面では、カ 申請率52. 取得率は8月末で754 98%である。

■緑地等中央管理センター及び花の

.議員】公募すると言いながら、 公募していない。 全然

うと、希望者がいればそのまま進め ってひたすら言ってきた。 なく、より良い方向に行くように願 るという、不公平な募集の仕方では なぜ公募にこだわっているかと

得できない。この状態を考え直して いただきたいと思うがどうか。 募で決まるという、募集の仕方に納これまでのように、1、2社の応

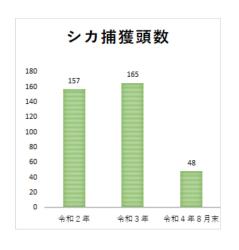
「村長」花の温泉館の利用については、 これまで様々な希望があり、 応もしてきた。 その対

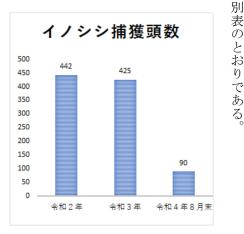
こともあった。 が、地域で受け入れられないという また、公募もしてきたことはあ

があった。 たいとの思いもあるが、2件の申請 は、村内の方々に管理していただき 緑地等中央管理センターについ

やはり公募する前に申請があれば対 この間、 村も内容について検討し、

月に公募することで進めている。 応していかなければならない。 また、花の温泉館については、 10





等の ては、

補助をやってきたが、

決定的

ワイヤーメッシュや電気柵

現

在の鳥獣被害対策につ

V

な対策が取れない現状である。

有害鳥獣被害対策実施隊の方々

鳥獣被害対策ついて

白石 議員

(議員)

害額はいくらか。

こ数年の実績を尋ねる。 て、

経済建設課長】

捕

獲頭

数については

県の補助金が約1割で残りが 経済建設課長】 財源となっている。 財源につい 、ては、

となっている。 イノシシ、 の被害は、 なお、 令和3年度の被害額 14万7千円の被害額 492万2千円、 シカ は、

シの頭数を減らす工面をしなけ

【議員】村としても大きな被害が出 どのような方法がいいのか、 ている以上は、 な対策を取れないもの したら防げるかを考え、 実施隊と相談して、 より どう

鳥獣対策に係る財源及び 般 被 (議員) るということは、 ろではあるが、 の支援を働きかけをしてい メッシュ柵) 侵入防止策 財源が (電気柵、 をしても入られ 国や県に何らか 番気になるとこ やはりイノシ

ワイヤ

討して、 られる。 するような対策を考えていただ らす方法も一つの案として考え 免許取得者を増やし、被害を減 ればいけない。 免許を所持の方も高齢にな 有害鳥獸被害対策実施隊

少しでも被害を少なく と検

置について要望している。

が一番良いのか再度検討していく。 と協議しながら、どういった対策

国・県に対しても財政措

シシから侵入された侵入防 止策(ワイヤーメッシュ柵)

令和4年第3回議会定例会報告

令和4年10月21日に大阿蘇環境センター未来館において、阿蘇広域行政事務組合の定例会が開催され、 議会選出議員2名が出席しました。

なお、令和3年度阿蘇広域事務組合の決算が承認され、本村の最終負担額については、下記のとおりです。

項目	一般管理	介護保険対策	障害支援対策	火葬事務	中部火葬施設	環境総務
産山村	260万円	76万円	18万円	21万円	184万円	44万円
阿蘇広域全体	1億1,216万円	2,876万円	753万円	813万円	1,885万円	1,681万円
+T □	\+ l= 14.5n.	티 44 kg 八 LB	中立7.7年十月) H 4n +m +/n	2017 17-1-	\
項目	清掃施設	最終処分場	中部清掃	し尿処理施設	消防	合 計
産山村	清掃施設 2,678万円		7 111 114 411		洞 奶 3,592万円	

*産山村の負担額は、前年比101.7%(128万円)の増

(万円以下は調整)

	主 な 議 会 活 動		
月 日	内 容	場所	参 加 者
8月19日~9月1日	例月監査・決算監査	産山村	監査委員
8月24日	第7回全員協議会 熊本県町村正副議長研修会	産山村 熊本市	議員全員 正副議長
8月25日	例月監査	産山村	監査委員
9月1日	議会運営委員会 経済建設常任委員会	産山村	議会運営委員 経済建設委員
9月8日~9日	第8回全員協議会	産山村	議員全員
9月8日~13日	第11回9月定例会	産山村	議員全員
9月20日	例月監査	産山村	監査委員
10月4日	第12回臨時会 熊本県町村議員研修会	産山村 熊本市	議員全員
10月14日	令和4年第7回 かたらんね阿蘇2022	熊本市	議長
10月17日	第13回臨時会 第9回全員協議会	産山村	議員全員
10月21日	阿蘇広域事務組合定例会 例月監査	阿蘇市 産山村	広域議員 監査委員
10月22日	中九州横断道路大津熊本道路中心杭打ち式	大津町	議長
10月24日	阿蘇市町村議会議員研修会	阿蘇市	議員全員
10月26日~27日	熊本県町村監査委員全国研修会	東京	監査委員

編集後記

村民の皆々様お元気でしょうか?

青空のもと、キンモクセイの香る今日この頃、 秋の空にススキが揺れ産山村でもみのり多き収 獲の時期を迎えております。

コロナも徐々に減少しつつありますが、 ク、手洗いを十分にして、自分の体を自分で

かり守ってください。

マスクをすることなく、皆さんと笑顔で話せる日が早く来ることが望まれます。

熊本県町村議会議員研修会について

令和4年10月4日熊本県立劇場において、 熊本県町村議会議員研修会が開催されました。

研修会では、認定NPO法人グリーンバレー理事(徳島県神山町)大南信也氏を講師に招き、「地方創生とまちづくり」と題した講演がありました。

講演の内容は、人口5,000人の小さな町で外部から若者やクリエイティブ人材を誘致、人口構成の健全化、ICTインフラ等を活用し、多様な働き方を実現できるビジネスの場としての価値観を高めるなど、農林漁業のみに頼らない、均衡のとれた、持続可能な地域を目指すものでした。

広報特別委員会 委員長 岩下 徳行 副委員長 井 春夫 委員 井 芳美 委員 城本 俊成 発行責任者 議長 西澤 正編 集 広報特別委員会
 発 行 産山村議会
 熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3
 ☎ 0 9 6 7 − 2 5 - 2 6 3 5